

インドとグローバルサウス

～日印関係の重要性～

22211206 鈴木玲央,22211260 時原礼,22311117 高橋依吹

・問題意識

昨今インドはグローバルサウスのリーダーのような経済成長を遂げてきた。本研究においては日本とインドが築いた良好な関係を読み解いた上で、日印関係の重要性について研究したい。

・経済大国になるまでの動向

成長が加速した要因としては、投資ブームの持続、経済改革に伴う生産性の向上、良好な国際経済環境、需要の増加や技術革新に支えられたサービス業の拡大、などがあげられる。サービス業の拡大については、特に、通信業、IT 関連などのビジネス・サービス業、金融業の伸びが大きくなっている。

グローバルサウスとはインドやインドネシア、トルコ、南アフリカといった南半球に多いアジアやアフリカなどの新興国・途上国の総称。

・インドの立ち位置と支持される要因

インドはグローバルサウスの声を増幅させる必要性を訴え、リーダーとしての地位を強調するような動きを見せている。ウクライナ戦争により突破口が必要な状況で、ロシアとも西側とも良好な関係にあるインドは仲介役を務めるのにうってつけであった。

・日本とインドの関係性

両国はそれぞれの経済的利益と安全保障上の利益を促進するため、日印関係の重要性を高めてきた。

・インドと良好な関係を築く利点

まず一つは、インドは世界で最も急速に成長している経済大国の一つであり巨大な消費市場を持っている点。もう一つは、インドと日本が協力することで、アジア全体の連携を強化し多国間協力を促進させることができる点。

まとめ

・両国はそれぞれの経済的利益と安全保障上の利益を促進するため、日印関係の重要性を高めてきた。

・インドと日本が協力することで、アジア全体の連携を強化し多国間協力を促進させることができる。

・在インド日系企業動向については、2022年10月時点で、「1400社の日系企業がインドに進出している

・人口は国の活力を示す。世界最大の市場となれば、多くのビジネスが期待できる。そのため、日本の企業や他の国々の企業はインドでの投資や事業展開によって新たな市場を開拓できる可能性がある。

